

## IV | 多摩を取り巻く状況

## 多摩地域におけるエリア区分

一口に多摩と言っても、地勢、人口動向、土地利用、産業構造など、地域によって特性や課題は様々である。このため、多摩を取り巻く状況を分析するに当たっては、多摩地域を一定のエリアに区分し、そのエリアごとの視点も加えていく。

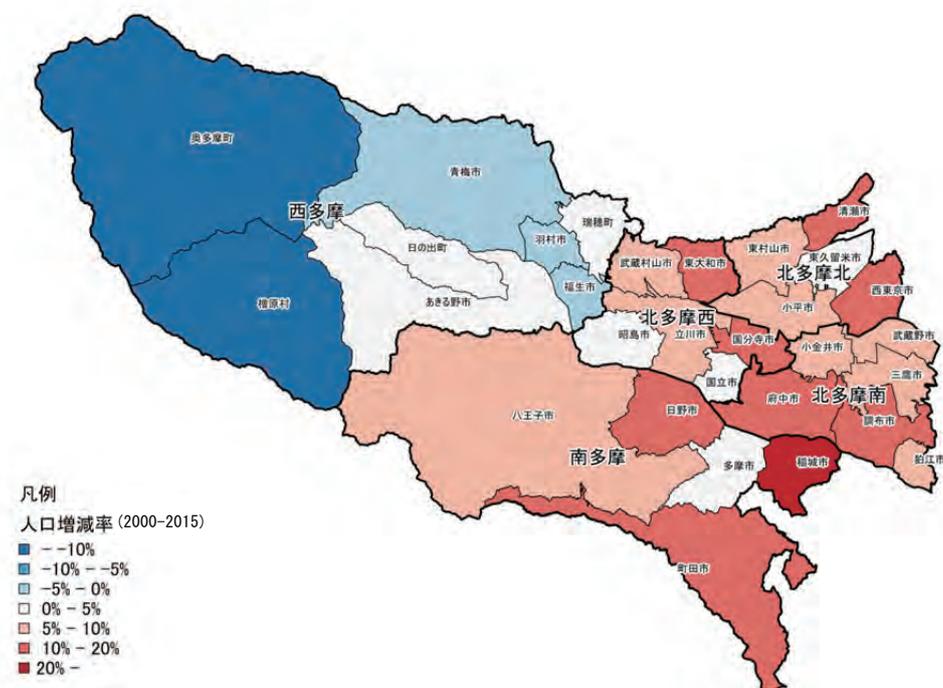
- 多摩地域においては、以下に示すとおり、行政実務を遂行していく上で、便宜上5つのエリア区分が設けられており、これらは、かつての郡（北多摩・南多摩・西多摩の3郡）や都の地方事務所が置かれていた地域をベースとしている。
- 多摩の市町村においては、このエリアごとに連携し、協議や活動を行うケースが多いなど、当該区分が広く定着、浸透している。

- ◆ 西多摩エリア（青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、檜原、奥多摩）
- ◆ 南多摩エリア（八王子、町田、日野、多摩、稲城）
- ◆ 北多摩西部エリア（立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山）
- ◆ 北多摩南部エリア（武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江）
- ◆ 北多摩北部エリア（小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京）

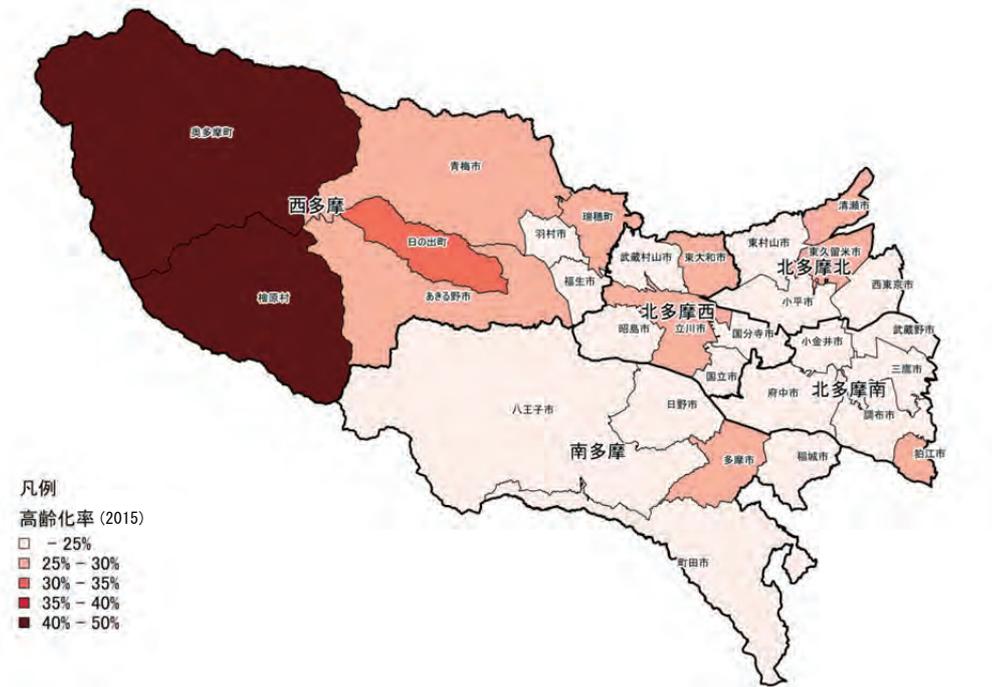


- この5つのエリアは、都で策定した「東京都保健医療計画」において、原則として特殊な医療を除く一般の医療ニーズに対応するために設定している二次保健医療圏\*と一致している。
- また、住民の日常社会生活圏を単位として、その総合的、一体的な振興整備を図る目的で設置された広域行政圏\*（西多摩エリアと北多摩北部エリアのみが設定）とも一致している。
- さらに、「都市づくりのグランドデザイン」におけるゾーン分けや、都市計画区域とも大きな乖離がないことから、エリア別の特性を分析するに当たって、当該5つのエリア区分を使用することには一定の合理性がある。
- 以上を踏まえつつ、複数のデータからも当該区分について検証する。
- 人口増減率（図表1）及び高齢化率\*（図表2）で見ると、人口の減少度合い、高齢化率の高さといった点で、西多摩エリアを一つのまとまりとして見る事ができる。

図表1 人口増減率（2000年～2015年）

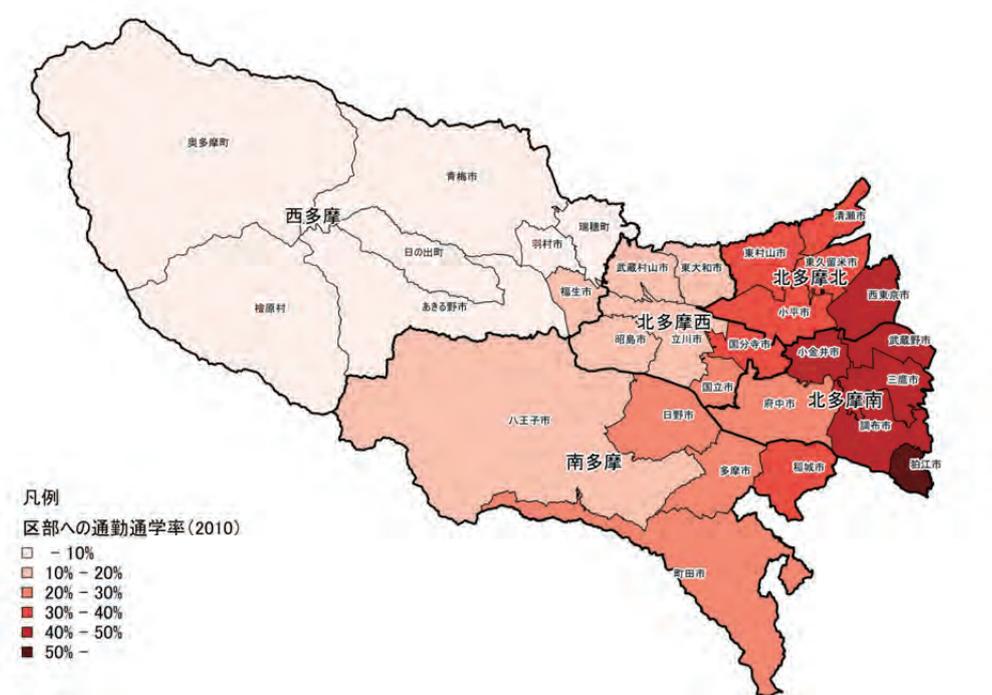


図表2 高齢化率（2015年）

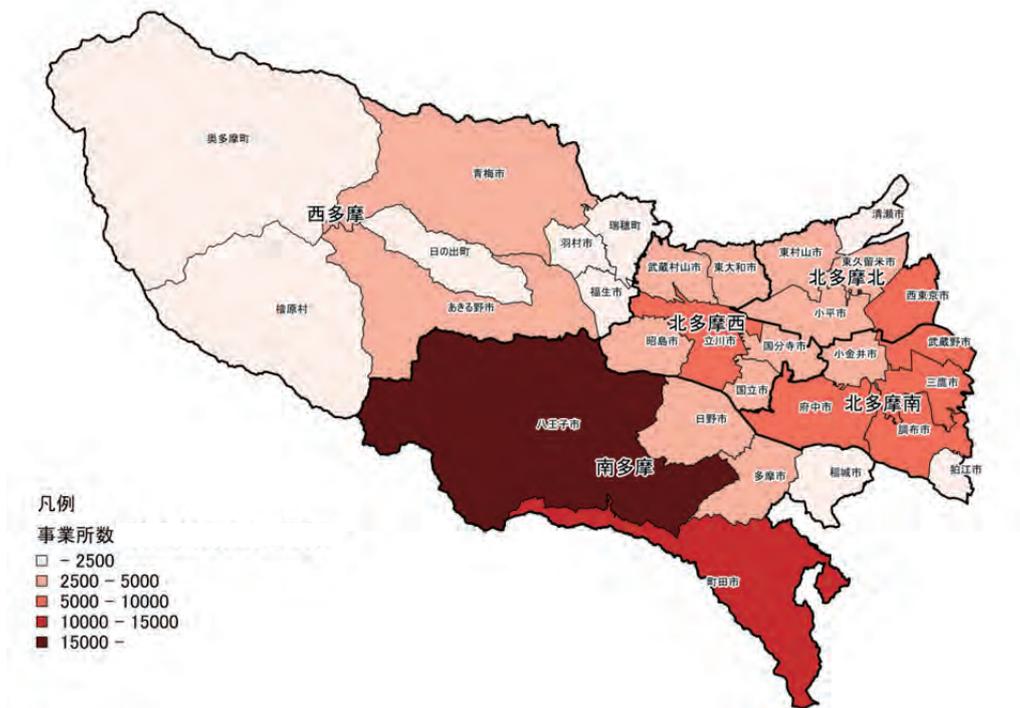


○ 区部への通勤通学率（図表3）や事業所数（図表4）で見ると、当該5つのエリアそれぞれについて、一定のまとまりとして捉えることができる。

図表3 区部への通勤通学率（2010年）



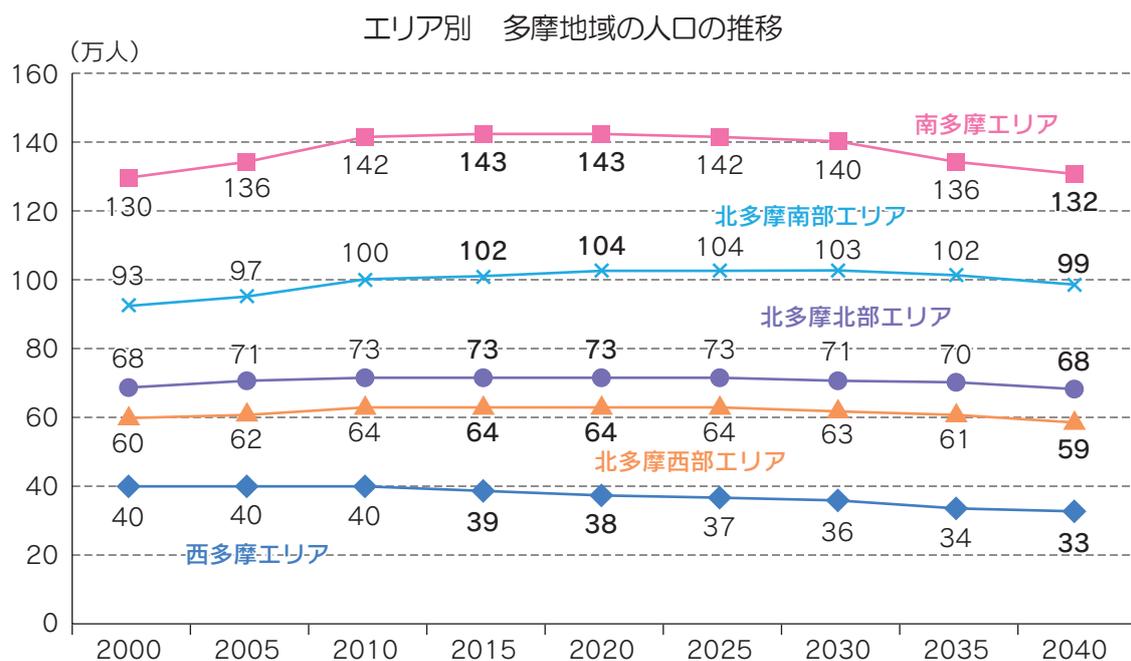
図表4 事業所数（2014年）



- このほか、それぞれのエリア内の特定の市への通勤通学の依存度合いで見ても、当該5つのエリアそれぞれのまとまりについて、一定の傾向を読み取ることができる。
- 以上から、多摩を取り巻く状況の分析に当たっては、当該5つのエリア区分を使用する。

## (人口動態)

- 2015年の国勢調査によれば、多摩地域の人口は、約422万人で、これまで一貫して増加している。
- 都道府県レベルで見ると、全国で10番目の人口規模に相当する。
- 西多摩エリアは、既に人口減少が始まっているが、多摩地域全体で見ても、2020年をピークに、本格的な人口減少・少子高齢社会に突入することが不可避であり、2040年には400万人を割り込むと見込まれる。



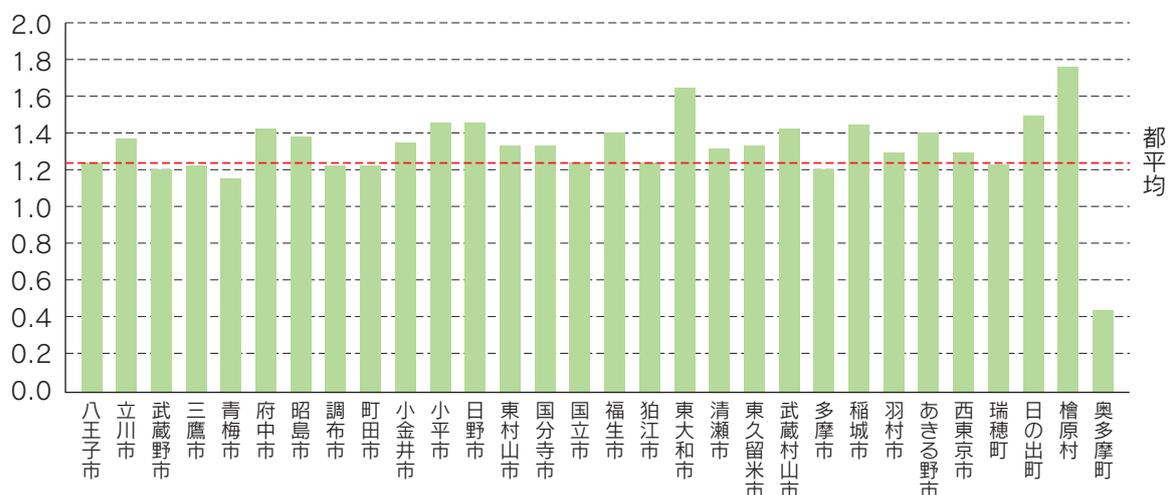
資料:2000年~2015年:国勢調査(総務省)

2020年~:「東京都区市町村別人口の予測」(東京都総務局 2017年3月)より作成

## (子育て環境)

- 多摩地域における2015年の合計特殊出生率は、22の市町村で都平均1.24を上回っている。

市町村別合計特殊出生率(2015年)

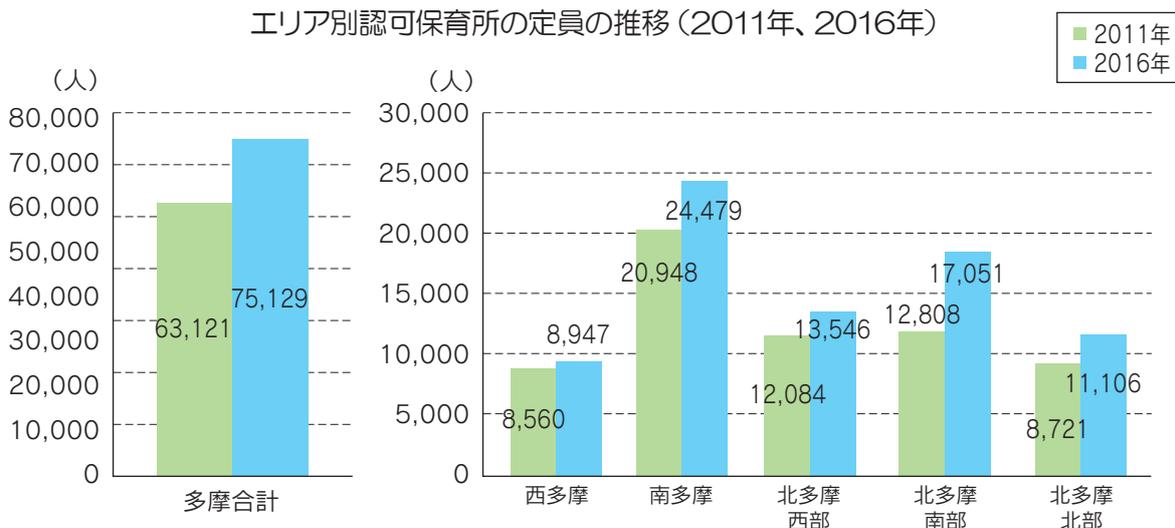


資料:「東京都人口動態統計」(東京都福祉保健局)より作成

- その一方、2015年の出生数は32,374人であったが、2010年から約1,800人減少している。特に、西多摩エリアは17.4%減、南多摩エリアは11.5%減となっており、減少が顕著である。

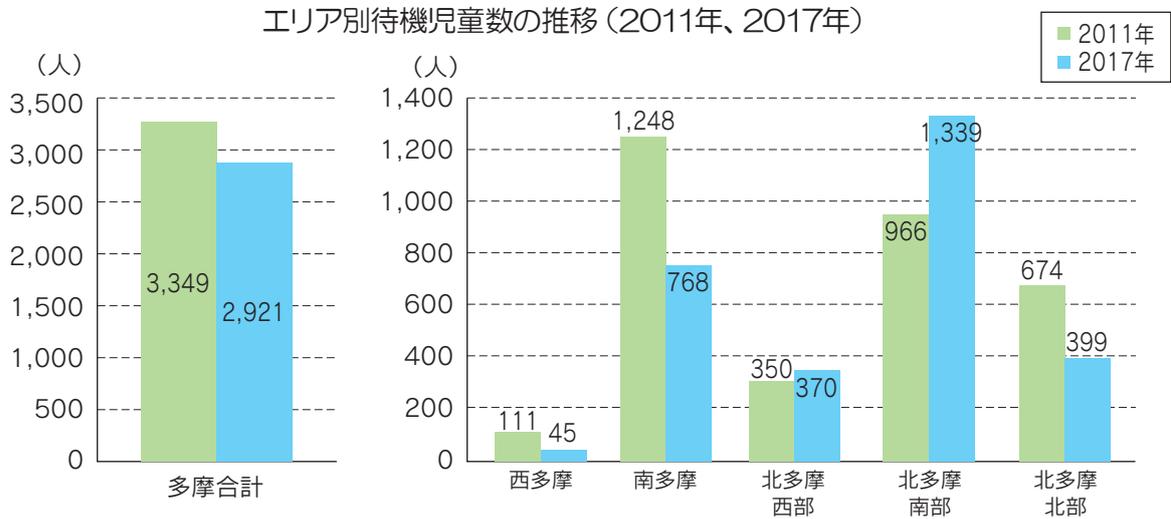
- 認可保育所の定員は、全てのエリアで増えており、2011年から2016年までの間に約12,000人分増加した。

エリア別認可保育所の定員の推移(2011年、2016年)



資料:「福祉・衛生統計年報」(東京都福祉保健局)より作成

- 待機児童は、2011年以降、減少基調にあるものの、依然として3千人弱存在している（2011年：3,349人→2017年：2,921人）。中でも、北多摩南部エリアの待機児童数は1,300人超に上っている。



資料：「都内の保育サービスの状況について」  
（東京都福祉保健局）より作成

- 学童クラブの登録児童数は年々増えており、2016年には、37,398人となっているが、1,865人の待機児童が存在している。

## (高齢者の生活)

- 2015年の多摩地域の高齢者人口は約100万人であり、中でも南多摩エリアが最も多く、約35万人である。
- 2015年の多摩地域の高齢化率は約24%であるが、2040年には約35%まで上昇する見込みである。特に、檜原村、奥多摩町は、現在でも45%を超えており、今後、更に上昇する見込みもある。

### [多摩地域の高齢化率]

	2015年		2040年(見込み)	
	高齢者人口	高齢化率	高齢者人口	高齢化率
西多摩	106,632人	27.3%	116,918人	37.7%
南多摩	350,977人	24.5%	466,146人	34.4%
北多摩西部	148,616人	23.2%	201,920人	34.2%
北多摩南部	214,757人	21.0%	324,757人	33.6%
北多摩北部	178,061人	24.3%	232,048人	34.4%
多摩合計	999,043人	23.7%	1,341,789人	34.5%

資料:2015年…「国勢調査」(総務省)

2040年…「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)より作成

- 2025年の多摩地域の後期高齢化率(75歳以上人口の割合)は、現在より約5%上昇して、約16%となる見込みである。
- 高齢者人口1万人当たりの特別養護老人ホームの定員及び介護老人保健施設の定員は、共に多摩地域が区部を上回っている。

### [高齢者人口1万人当たりの特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の定員(2015年)]

	高齢者人口1万人当たりの定員	
	多摩	区部
特別養護老人ホーム	202.6人	112.0人
介護老人保健施設	85.2人	60.2人

資料:東京都福祉保健局資料より作成

- 高齢者人口1万人当たりの老人クラブ数は、多摩地域が区部を上回っている。また、シルバー人材センターの会員の就業率についても、区部よりも高い水準で推移している。

[高齢者人口1万人当たりの老人クラブ数（2015年）]

多摩	12.8 クラブ
区部	11.8 クラブ

資料：「福祉・衛生行政統計」（東京都福祉保健局）等より作成

[シルバー人材センターの会員の就業率]

	2013年	2014年	2015年
多摩	83.2%	83.7%	83.1%
区部	75.6%	76.0%	76.2%

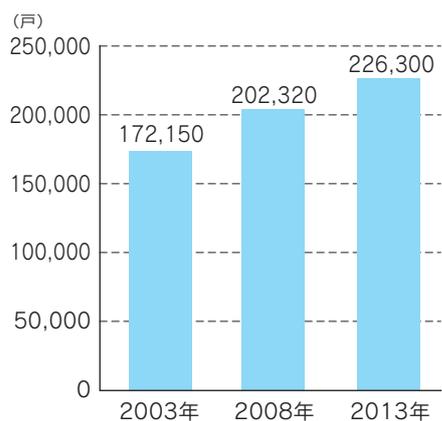
資料：「福祉・衛生行政統計」（東京都福祉保健局）より作成

- 高齢者人口1万人当たりの在宅療養支援診療所数は、多摩地域は3.2施設であり、区部の6.1施設を下回っている。

## （住環境）

- 住宅地の公示価格は、区部の549,100円/㎡に対して、多摩地域では206,100円/㎡となっている。また、家賃についても、区部の82,463円/月に対して、多摩地域では62,573円/月であり、多摩地域は区部と比較して、居住コストが安い。
- 誘導居住面積水準\*達成率は、区部が37.9%であるのに対して、多摩地域は44.9%であり、居住空間は比較的余裕のあるものとなっている。
- 2003年から2013年までの10年間で、空き家は約54,000戸増加し、約226,000戸存在しており、空き家率は10.8%となっている。

空き家数の推移  
(2003年、2008年、2013年)



資料:「住宅・土地統計調査」  
(総務省)より作成

[多摩地域の空き家率 (2013年)]

	住宅総数	空き家数	空き家率
西多摩	167,890 戸	19,760 戸	11.8%
南多摩	708,700 戸	68,260 戸	9.6%
北多摩西部	318,870 戸	37,220 戸	11.7%
北多摩南部	542,920 戸	65,450 戸	12.1%
北多摩北部	353,690 戸	35,610 戸	10.1%
多摩合計	2,092,070 戸	226,300 戸	10.8%

資料:「住宅・土地統計調査」(総務省)より作成

(まちづくり)

- レクリエーションの場の提供、防災性の向上、環境の保全及び良好な景観の形成に寄与する、都市計画公園<sup>\*</sup>の人口1人当たりの面積は、区部はもとより、隣県よりも広いものとなっている。



中藤公園(武蔵村山市)



西東京いこいの森公園(西東京市)

[人口1人当たりの都市計画公園の面積（2015年）]

多摩	7.8㎡
区部	4.4㎡
埼玉県	7.3㎡
千葉県	7.3㎡
神奈川県	5.9㎡

資料：「公共施設状況調経年比較表」（総務省）より作成

- 市民農園数は、区部よりも多摩地域の方が多く、また、指導員の設置割合も多摩地域が高い。

[市民農園数（2015年度）]

	市民農園数	指導員の設置割合
多摩	219 園	30.6%
区部	140 園	12.1%

資料：「市民農園リスト」（農林水産省）より作成

- 高度経済成長期に集中的に整備された都市インフラや公共施設、大規模団地などは、建設から40年以上経過し、今後、一斉に更新時期を迎える。
- 実践女子大学（日野市）や拓殖大学（八王子市）、大妻女子大学（多摩市）などの大学の一部の学部が順次、都心部へ移転しており、2022年頃までには、中央大学法学部（八王子市）も都心へ移転する予定となっている。

## (道路・交通ネットワーク)

- 2016年度現在の三環状道路<sup>\*</sup>の整備率は約79%であり、2020年度には約9割開通する見込みである。加えて、2027年にはリニア中央新幹線<sup>\*</sup>の品川駅～名古屋駅間の開業が予定されている。
- 2014年度現在、多摩地域の都市計画道路の完成率は59.7%で、区部の64.7%よりも、やや低い水準にある。

[都市計画道路の状況 (2014年度)]

	計画延長 (km)	完成延長 (km)	完成率 (%)
西多摩	194.8	137.0	70.3
南多摩	537.1	372.4	69.3
北多摩西部	219.3	112.7	51.4
北多摩南部	279.0	158.7	56.9
北多摩北部	197.4	72.4	36.7
合計(※)	1,431.8	855.2	59.7

(※) 都県境も含めた値であり、各項目の合計値と合致しない。

資料:「都市計画施設の状況」(国土交通省)より作成

- 全住宅の16%が鉄道最寄駅から2km以上離れており、この割合は区部(1.0%)と比較して高い。

最寄駅までの距離別住宅戸数の割合 (2013年)



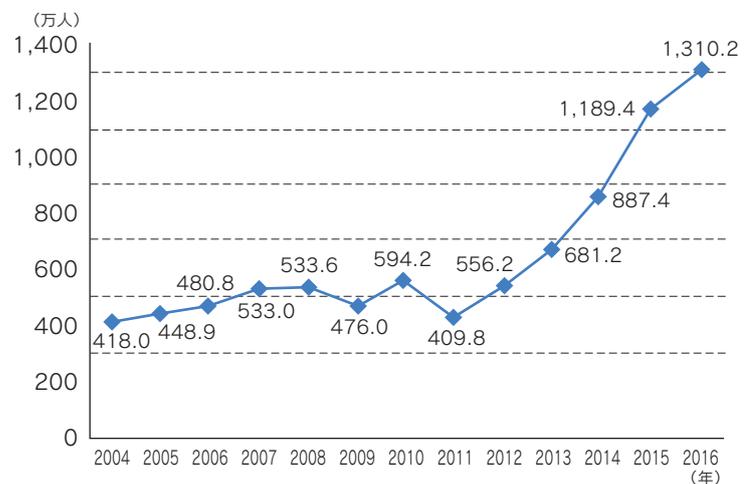
資料:「住宅・土地統計調査」(総務省)より作成

- 交通手段としての自動車の分担率は、区部は 10.5%であるのに対して、多摩地域は 25.5%である。

## (観光)

- 2016 年の訪都外国人旅行者数は約 1,310 万人で、対前年比 10.2%増となっている。
- 一方で、訪都外国人旅行者の訪問先は、上位 10 位は全て区部が占めており、多摩地域への訪問割合は低い状況となっている。

訪都外国人旅行者数の推移



資料:「東京都観光客数等実態調査」(東京都産業労働局)より作成

- ただし、今後、ラグビーワールドカップ 2019™ や、東京 2020 大会の開催を控え、国内外から多摩地域への観光客の増加が見込まれる。
- 多摩地域には、奥多摩の山々や、高尾山、御岳山、狭山丘陵、多摩川、秋川渓谷など、豊かな自然が息づいており、観光資源としてのポテンシャルが高い。また、三鷹の森ジブリ美術館、サンリオピューロランド、東京サマーランド、よみうりランド、江戸東京たてももの園、温泉などの観光施設も多数存在している。



御岳山



江戸東京たてももの園(小金井市)



秋川渓谷瀬音の湯(あきる野市)

- 外国人宿泊者数の増加に伴い、都内の宿泊施設の客室稼働率は高水準で推移しており、2015 年の稼働率は全国平均の 60%を大幅に上回る 83%に達している。

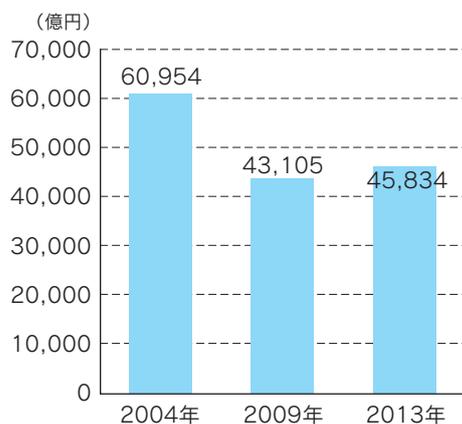
○ 2009年の多摩地域の旅館・ホテルの客室数は12,078室であったが、2015年には12,209室となり、131室増加している。

○ 2015年の多摩地域での国際会議の開催は、区部の557件に比べ、26件に留まっている。(出典 日本政府観光局(JNTO)国際会議統計)

## (産業・雇用)

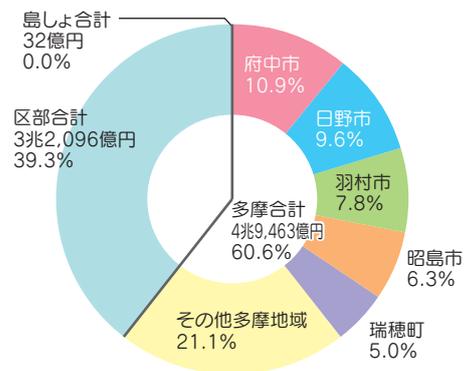
○ 多摩地域の製造品出荷額等は、2014年で、約4兆9千億円であり、区部(約3兆2千億円)よりも多く、都全体の約6割を占める。ただし、ここ10年で見ると、約2割落ち込んでいる。

製造品出荷額等の推移  
(2004年、2009年、2013年)



資料:「工業統計調査」(経済産業省)より作成

市区町村別製造品出荷額等構成比(2014年)



資料:「工業統計調査」(経済産業省)より作成

○ 近年、多摩地域からの大規模工場の撤退が相次いでおり、例えば、2011年には東芝日野工場、2014年には雪印メグミルク日野工場、2017年には東芝青梅事業所が撤退したほか、2020年には日野自動車日野工場が撤退予定であり、産業の衰退・空洞化が懸念される。

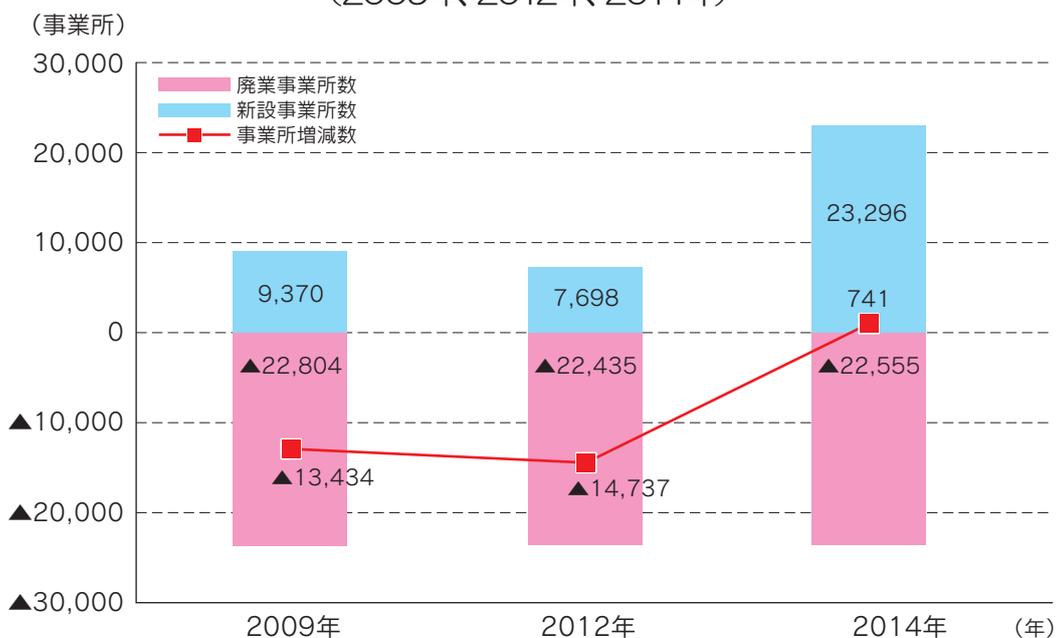
[主な大規模工場の撤退事例]

工場名	撤退時期	規模
日産村山工場	2001年	140ha
IHI田無工場	2007年	9.4ha
東芝日野工場	2011年	9.8ha
雪印メグミルク日野工場	2014年	2.7ha
日本無線三鷹製作所	2016年	6.4ha
東芝青梅事業所	2017年	11.9ha
日野自動車日野工場	2020年予定	30ha

資料：各社有価証券報告書、プレスリリース等より作成

- 一方で、多摩地域では、落ち着いた環境と都心へのアクセスの良さなどの観点から、企業の研究施設等が新たに立地しつつある。
- 多摩地域における新設事業所数・廃業事業所数の推移をみると、2009年から2012年にかけては新設事業所数を廃業事業所数が大幅に上回っていたが、2014年は新設事業所数が廃業事業所数を741事業所上回った。

新設事業所・廃業事業所・事業所増減数の推移  
(2009年、2012年、2014年)



資料：「経済センサス-基礎調査結果」(2009年、2014年) (総務省)  
「経済センサス-活動調査」(2012年) (総務省・経済産業省)より作成

○ 多摩地域は、都心に比べてオフィス賃料が安く、この点は創業にとって有利な環境と言える。

○ 2017年1月の有効求人倍率は、フルタイムで1倍を切っているものの、2015年及び2016年の同月と比較して、フルタイム及びパートタイムともに、改善している。

[多摩地域の有効求人倍率の推移]

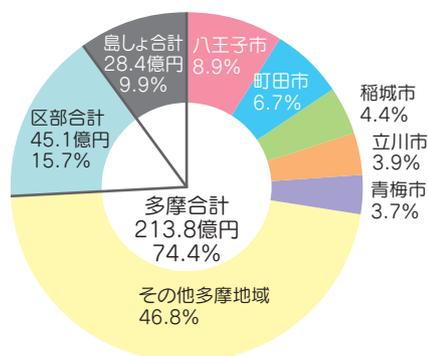
	2015年1月	2016年1月	2017年1月
フルタイム	0.63	0.78	0.81
パートタイム	0.90	1.18	1.25

資料:「職種別有効求人・求職状況」(東京労働局)より作成

### (農林水産業)

○ 2013年の多摩地域の農業産出額は、区部の約4.7倍の額となっており、多摩川梨、東京ウド、東京狭山茶などの特産品がある。

市区町村別農業産出額構成比(2013年)



多摩川梨

資料:「東京都農作物生産状況調査結果報告書(平成25年産)」  
(東京都産業労働局)より作成



東京狭山茶の茶畑(瑞穂町)

- 生産緑地<sup>\*</sup>面積は、区部はもとより、近隣県と比べても大きく、市街化区域<sup>\*</sup>面積に占める生産緑地面積の割合も同様に高い。中でも、北多摩北部エリアにおける生産緑地面積の割合は、10.0%と最も高い。

[市街化区域面積に占める生産緑地面積の割合（2015年）]

	生産緑地面積 (ha)	市街化区域面積 (ha)	市街化区域面積に 占める生産緑地 面積の割合(%)
西多摩	248.0	5,928	4.2
南多摩	743.7	19,294	3.9
北多摩西部	581.1	7,623	7.6
北多摩南部	498.2	9,211	5.4
北多摩北部	761.5	7,626	10.0
合計	2,832.5	49,682	5.7

資料：「都市計画現況調査」(国土交通省)より作成

[区部及び近隣県の市街化区域面積に占める生産緑地面積の割合（2015年）]

区部	0.8%
埼玉県	2.5%
千葉県	1.7%
神奈川県	1.5%

資料：「都市計画現況調査」(国土交通省)より作成

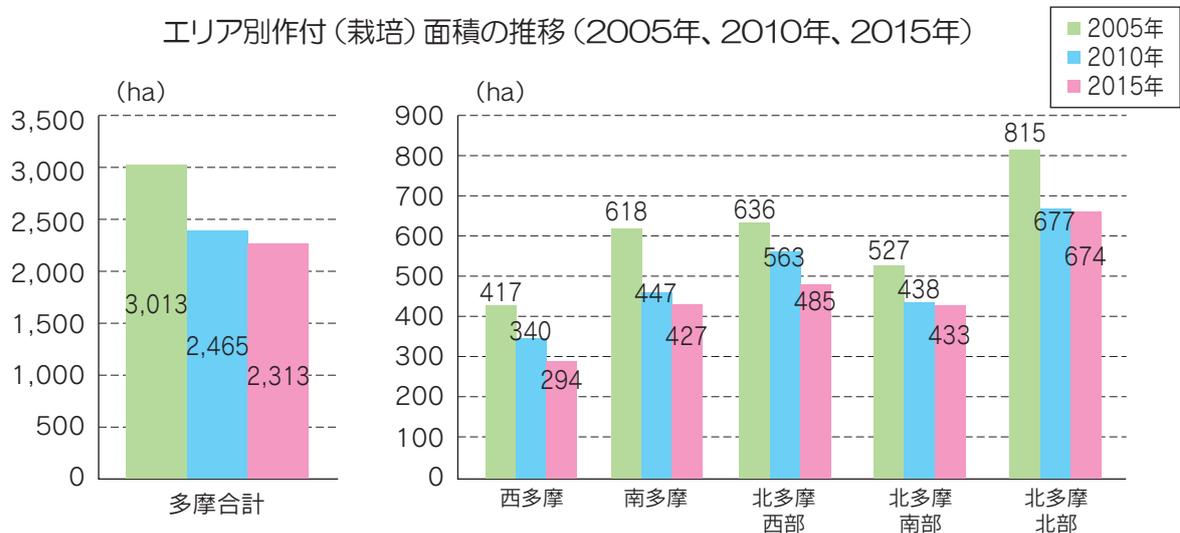
- 一方で、生産緑地面積は、2008年から2015年までの7年間で約290ha、率にして9.2%減少している。

生産緑地面積の推移  
(2008年、2015年)



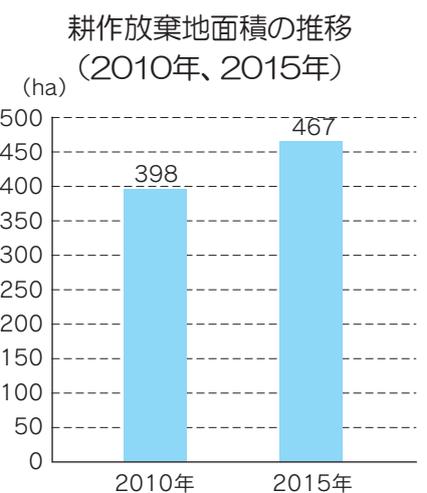
資料：「都市計画現況調査」(国土交通省)より作成

- 作付（栽培）面積についても、2005年から2015年までの10年間で700ha、率にして23.2%減少し、2,313haとなっている。特に南多摩エリアでは、3割以上の減となっている。



資料：「農林業センサス」（農林水産省）より作成

- 耕作放棄地面積は、2010年から2015年までの間で69ha、率にして17.4%増加し、467haとなっている。

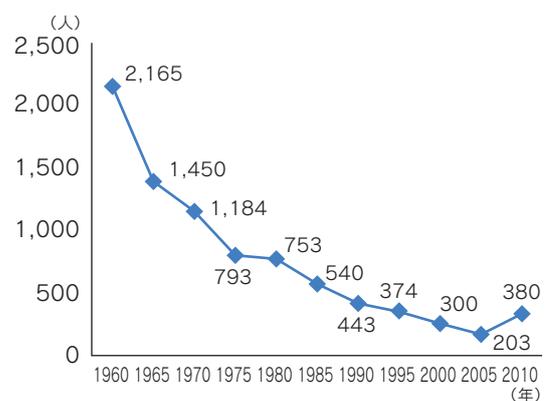


資料：「農林業センサス」（農林水産省）より作成

- 多摩地域には約53,000haの森林があり、6割が人工林である。その多くは戦後に造林されたもので、木材として利用可能な50年生以上のものが60%以上を占めており、伐採・利用の時期を迎えている。

- 1955年以降、東京の林業従事者は減少しており、2005年から2010年にかけて増加したものの、1955年の7分の1程度の人数にとどまっている。また、木材価格が長期に渡って低迷する中、多摩地域では、木材の販売額だけでは伐採搬出経費さえも賄えないことが多く、林業経営は厳しい状況に置かれている。

林業従事者数の推移（全都 1960年～2010年）



資料：「東京の森林・林業」（東京都産業労働局）より作成

- 山間部でニジマスやヤマメ等の養殖が行われており、東京都水産試験場が開発した「奥多摩やまめ」は、様々な活用方法が試行され、特産品としての定着化を促進している。
- 多摩川水系の漁業協同組合によって、毎年約 80 ～ 100 万尾のアユの稚魚が放流されており、近年では、150 万尾を超えるアユが東京湾から多摩川へ遡上しているが、堰等の河川工作物などにより、中下流域で滞留しているため、天然アユを捕獲して、上流域に放流する技術を開発し、漁協等が取組を開始した。

### (文化・スポーツ)

- 多摩地域には、特色ある美術館や芸術系大学が多く存在し、地域の伝統文化・芸能（例：小河内の鹿島踊（奥多摩町）、八王子車人形、武蔵府中くらやみ祭）、遺跡などもあり、文化的ポテンシャルが高い。
- 人口 10 万人当たりの図書館数は、区部や全国と比べて多い。また、人口 1 人当たりの公民館数は、区部よりも多い。



小河内の鹿島踊



八王子車人形



武蔵府中くらやみ祭

#### [人口 10 万人当たりの図書館数 (2011 年)]

多摩	3.75 施設
区部	2.77 施設
全国	2.58 施設

資料:「社会教育調査報告書」(文部科学省)等より作成

#### [人口 1 人当たりの公民館数 (2011 年)]

多摩	1.82 施設
区部	0.57 施設

※ 区部は社会教育会館を計上

資料:「社会教育調査報告書」(文部科学省)等より作成

○ 2019年にはアジアで初となるラグビーワールドカップが日本で開催され、調布市にある東京スタジアムにおいて、開会式と開幕戦の実施が予定されている。



東京スタジアム

○ 東京2020大会では、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて、バドミントン、サッカー、近代五種、7人制ラグビー、車いすバスケットボールの競技が行われる予定である。

○ 両大会の開催に伴い、相当数のインバウンド<sup>\*</sup>客が見込まれ、大会終了後も観光客やビジネス客を継続的に取り込むことが可能となる。

○ 武蔵野の森総合スポーツプラザは、東京スタジアムと合わせ、多摩地域のスポーツ振興の拠点を形成するとともに、コンサートの開催等により、地域のにぎわいと活性化への貢献も見込まれる。

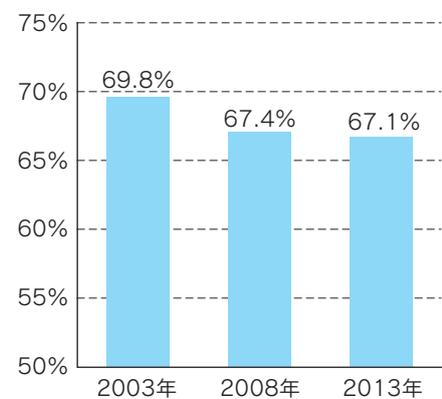
○ サッカー、バレーボール、ラグビー、アメリカンフットボール等の複数のトップリーグチームなどが、多摩地域をホームタウンとしており、身近にスポーツを楽しめる環境が整っている。

## (水と緑)

○ 多摩地域は、奥多摩の山林や武蔵野の雑木林など、豊かな緑に囲まれ、2013年現在のみどり率<sup>\*</sup>は67.1%と、都全域(50.5%)を大きく上回っている。

○ その一方で、多摩地域のみどり率は、2003年から2013年にかけて、2.7%減少している。

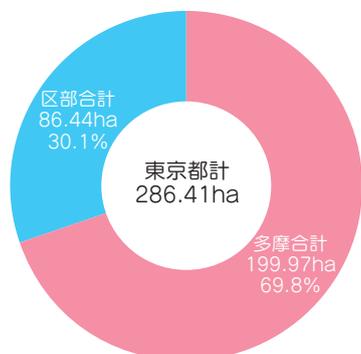
みどり率の推移  
(2003年、2008年、2013年)



資料:東京都環境局資料より作成

- 特別緑地保全地区<sup>※</sup>は、都内で48か所指定されているが、その内、多摩地域では31か所指定されており、保全地区の都内総面積の約7割を占める。

特別緑地保全地区の面積  
(2017年4月1日現在)



資料:東京都都市整備局資料より作成



狛江弁財天池(狛江市)

- また、東京都保全地域<sup>※</sup>（自然環境保全地域、森林環境保全地域、里山保全地域、歴史環境保全地域及び緑地保全地域の5種）の全50地域が、多摩地域にある。



矢川緑地保全地域(立川市)

- 多摩丘陵や狭山丘陵など、貴重な環境が保全されており、都市の中にあっても、里山文化を体験・学習できる。

- 多摩地域は、トレッキングを楽しめる奥多摩の山々や、御岳山、多摩川のほか、ミシュランの三ツ星に認定された高尾山や、秋川渓谷、日原鍾乳洞など、大自然の息吹が感じられるスポットが数多く存在し、今後、国内外からより多くの人々を集められるポテンシャルを有している。



高尾山薬王院(八王子市)



秋川渓谷



日原鍾乳洞(奥多摩町)

○ 合計8つの国立公園、国定公園、都立自然公園が存在し、山岳・渓谷の変化に富んだ豊かな景観や、多様な生物環境が保護されている。

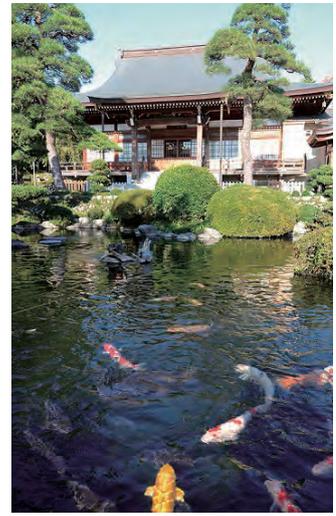
○ 水量、水質、その由来、景観などに優れた「東京の名湧水57選」のうち、38の湧水が多摩地域にあり、潤いのある空間を形成している。



ママ下湧水(国立市)



はげの森美術館(小金井市)



清岩院(福生市)

## 西多摩エリア（青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、檜原、奥多摩）



[人口(2015年国勢調査)] 390,897人 [面積] 572.70 km<sup>2</sup>  
 (西多摩地域広域行政圏協議会が設置)

- 広大な山岳、森林と多摩川、秋川の清流などの豊かな自然に恵まれている
- 既に人口が減少

- 面積の約79%を広大な森林が占めており、多摩川と秋川が流れるなど、豊かな自然に恵まれたエリアである。また、御岳山、秋川渓谷などの自然の観光資源にも恵まれており、多くの観光客が来訪している。



雲取山



弘沢の滝(檜原村)

○ 2014年の製造品出荷額等は、都全体の約17%を占め、多摩地域内で最大である。特に、羽村市、瑞穂町、青梅市、日の出町に製造業が集積しており、その中でも羽村市は都内で3位の額である。



西東京工業団地(羽村市、青梅市)

○ 一方で、製造品出荷額等の推移をみると、2004年から2014年にかけて、約13%減少している。

○ 青梅市、あきる野市、瑞穂町、日の出町において、市街化区域や市街化調整区域の用途地域等を除いた区域が、農業振興地域<sup>\*</sup>に指定されており、多様な業が展開されている。

○ 圏央道<sup>\*</sup>は都内区間が全線開通しており、2017年には茨城県区間が全線開通した。これにより、東名高速から東関東道まで6つの高速道路が圏央道で結ばれ、各方面へのアクセスが向上している。

○ 多摩地域内で唯一、人口減少が始まっており、2005年をピークに減少している。

○ 高齢化率は、多摩地域内で最も高い。その中でも、山間部に位置する檜原村、奥多摩町は特に高く、45%を超えている。

○ かつては山間部において、林業が盛んであったが、経営体数や林業従事者が減少している。

○ 2015年3月のダイヤ改正では、JR五日市線で運行本数が減便（平日の日中時間帯について、運転本数を現行の毎時3本から毎時2本に）となった。

○ また、2016年3月のダイヤ改正でも、JR青梅線で運行本数が減便（平日の日中時間帯について、青梅～奥多摩間の運転間隔を現行の30分間隔から45分間隔、12往復から8往復に）となった。

○ タクシー1台当たりの人口で見ると、西多摩エリアは1,870人であり、都全体の279人と比べ、1台のタクシーで賄う人口は約6.7倍となっている。

## 南多摩エリア（八王子、町田、日野、多摩、稲城）



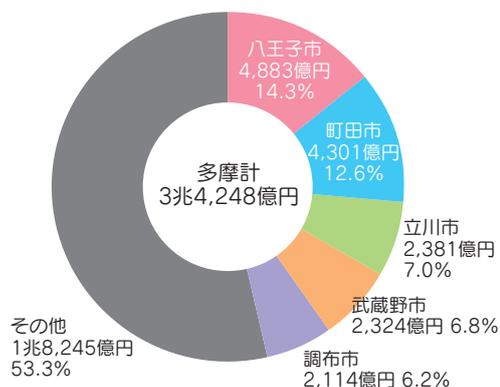
[人口(2015年国勢調査)] 1,430,411人 [面積] 324.71 km<sup>2</sup>

- ものづくりや農業が盛ん、大学が集積
- 近年、大学の都心への移転傾向がみられる

○ 2013年の農業産出額は68億円で、多摩地域内で最も多い。特に、八王子市は都内1位(約26億円)、町田市は都内2位(約19億円)の額である。

○ 2014年の小売業年間商品販売額は約1.2兆円で、多摩地域内で最も多い。特に、八王子市及び町田市の2市の額はそれぞれ4千億円を超え、他の市町村を大きく上回っている。

市町村別小売業年間商品販売額(2014年)



資料:「商業統計」(経済産業省)より作成

○ 2014年の製造品出荷額等は、多摩地域内で西多摩エリアに次いで2番目に多く、都全体の約16%を占める。特に、八王子市及び日野市に集中しており、その中でも、日野市は都内で2位の額である。



平山工業団地付近(日野市)

○ 一方で、製造品出荷額等の推移をみると、2004年から2014年にかけて、約24%減少している。

○ 企業の研究施設について、八王子市及び日野市を中心に集積が強まっている。

○ 圏央道は都内区間が全線開通しており、2017年には茨城県区間が全線開通した。これにより、東名高速から東関東道まで6つの高速道路が圏央道で結ばれ、各方面へのアクセスが向上している。

○ リニア中央新幹線の新駅が相模原市橋本地区に開設される予定であり、アクセスの更なる向上が期待される。

○ 高尾山などの有名な観光資源が存在しており、多くの観光客が来訪している。



高尾山山頂からの景観

○ 大学は、多摩地域内で最も多く（35校・学生数11.6万人）、主に八王子市や町田市に集積している。

○ 一方で、多くの学生を抱える中央大学法学部などが、都心への移転を予定している。

○ 多摩ニュータウンは、入居開始から45年が経過し、少子高齢化や施設の老朽化などの課題が顕在化しているが、まちの再生に向けて、住宅の更新や道路の整備、地域包括ケアと連携したまちづくりなどの取組が行われている。



多摩ニュータウン

## 北多摩西部エリア（立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山）



[人口(2015年国勢調査)] 640,617人 [面積] 90.05 km<sup>2</sup>

- 交通の要所（立川駅）や、狭山丘陵、国分寺崖線などの自然を擁する
- 北部に鉄道交通の無い地域が存在

- JR立川駅の乗降客数は多摩地域内で最も多く、JR中央線、南武線、青梅線、多摩都市モノレールが乗り入れ、交通の要所となっている。また、駅周辺には大型商業施設や国の行政機関、国営昭和記念公園等が立地し、立川市は多摩地域の拠点として発展している。



立川駅周辺

○ 旅館・ホテルの少ない多摩地域にあって、立川駅周辺に比較的多くのホテルが立地している。



産業サポートスクエア・TAMA

○ 昭島市には、産業サポートスクエア・TAMAがあり、中小企業の経営・技術支援、農林水産業の支援、職業能力開発・人材育成を支援する施設が結集する多摩地域の産業支援拠点となっている。



真姿の池(国分寺市)

○ エリア内を立川崖線と国分寺崖線の2本の崖線\*が通っている。崖線には湧水が多く、市街地の中の親水空間として、また野鳥や小動物の生活空間として貴重な自然地となっている。

○ エリア北部の狭山丘陵一帯は、都立狭山自然公園として指定されている。公園内には、都民の水瓶の一つである多摩湖や、都立の都市公園\*としては最大である都立野山北・六道山公園などがあり、ウォーキングや里山文化を体験できるスポットとなっている。



多摩湖(東大和市、東村山市)

○ 多摩地域を南北につなぐ多摩都市モノレールは、立川市を縦貫して上北台駅（東大和市）まで開通しているが、エリア北部の武蔵村山市には、鉄道駅が存在しておらず、主な公共交通手段はバスとなっている。

○ 多摩南北道路の立川東大和線、多摩東西道路の新五日市街道線で、事業化されていない区間が多くある。

○ 1964年度から建設された都内最大の都営住宅である村山団地（5,260戸）では、1997年度から建替事業に着手し、福祉施設などの整備と合わせながら、老朽化した住宅の計画的な建替えを行い、バリアフリー化など居住の水準向上に取り組んでいる。

## 北多摩南部エリア（武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江）



[人口 (2015 年国勢調査)] 1,022,646 人 [面積] 96.10 km<sup>2</sup>

- 井の頭恩賜公園、三鷹の森ジブリ美術館、深大寺など多数の観光スポットが存在
- 空き家率が高い

○ 井の頭恩賜公園、三鷹の森ジブリ美術館、深大寺、江戸東京たてもの園など多くの人々が訪れる観光スポットが多く存在する。



井の頭恩賜公園(武蔵野市、三鷹市)



三鷹の森ジブリ美術館



深大寺(調布市)

- 武蔵野の森総合スポーツプラザ及び東京スタジアムにおいて、東京 2020 大会の競技実施が複数予定されている。また、東京スタジアムにおいて、ラグビーワールドカップ 2019™ の開会式や開幕戦が開催される予定である。



東京スタジアム

- 府中市には大規模工場が立地しており、2014 年の製造品出荷額等は都内で最も多い。
- 大学が 18 校（学生数約 3.8 万人）あり、多摩地域内で 2 番目に多い。
- 土地利用比率に占める宅地の割合が多摩地域内で最も高い。また、地価は、多摩地域内で高い傾向にあり、中でも、武蔵野市は区部と同水準である。
- JR、京王電鉄等が通っており、隣接する区部へのアクセスがよく、区部との流入・流出人口（通勤者・通学者）が多摩地域内で最も多い。



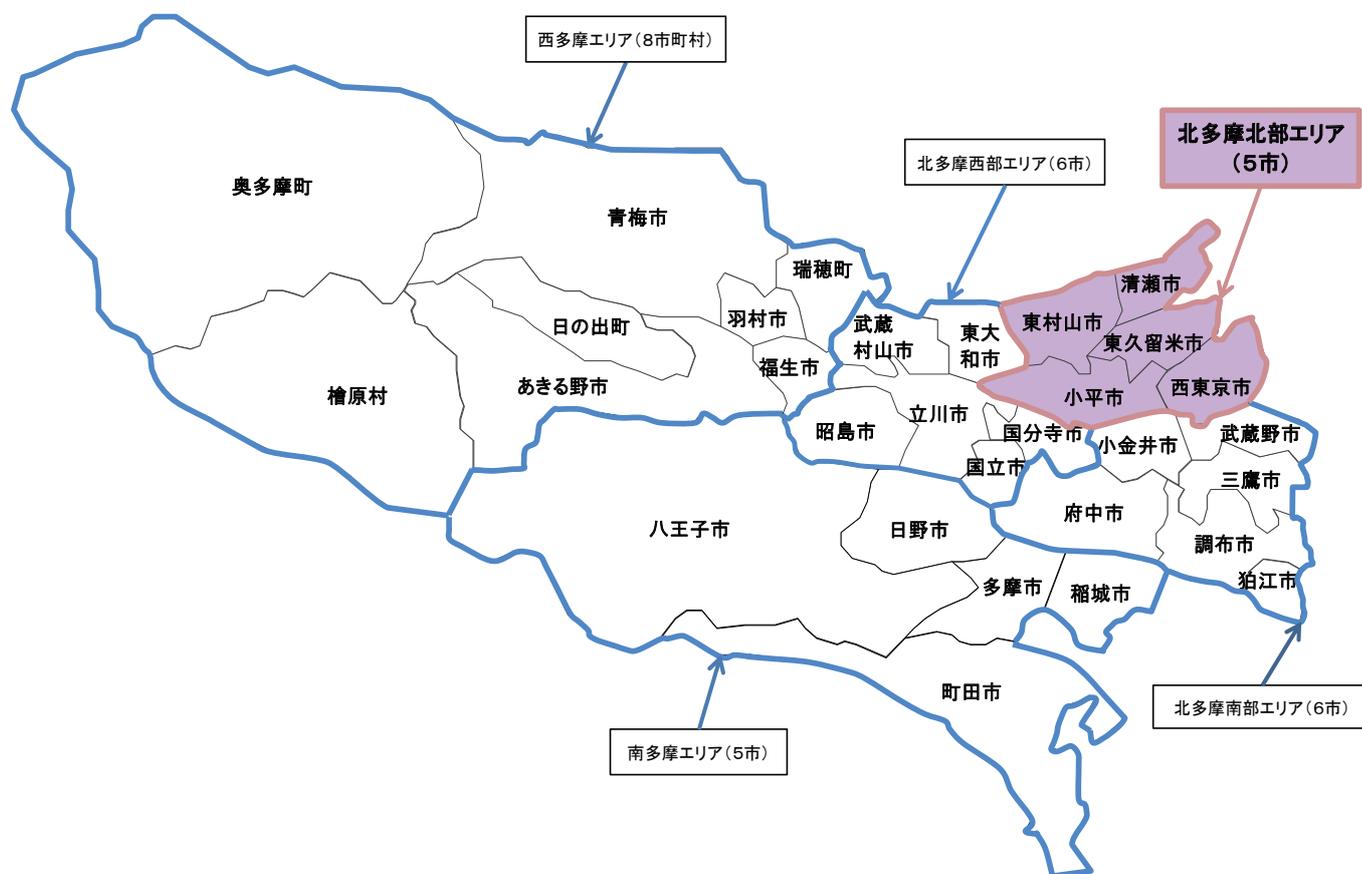
JR 中央線



京王線

- 2015 年の合計特殊出生率で見ると、武蔵野市、三鷹市、調布市の 3 市が都平均を下回っている。
- 2017 年の保育サービスにおける待機児童数は、1,339 人存在しており、多摩地域内で最も多い。
- 2013 年の空き家率は 12.1%であり、多摩地域内で最も高い。

## 北多摩北部エリア（小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京）



[人口(2015年国勢調査)] 731,469人 [面積] 76.51 km<sup>2</sup>

(多摩北部都市広域行政圏協議会が設置)

- 八国山緑地、玉川上水などの自然が住宅地の近隣に広がる
- 都市計画道路の完成率が低い

○ 生産緑地の面積は、多摩地域内で最も広く、市街化区域面積に占める割合も最も高い。また、その割合は近隣県と比べても高い。

○ その一方で、生産緑地の面積は、2008年から2015年にかけて、約88ha減少しており、その減少面積は、多摩地域内で最も大きい。

○ 2013年の農業産出額は多摩地域内で、南多摩エリアに次いで2番目に多く、西東京市などの3市が、多摩地域上位10位以内の額である。



キャベツ畑(西東京市)

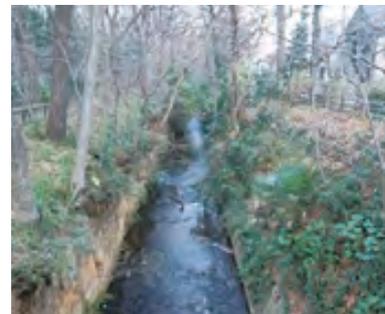
○ 都内で唯一「平成の名水百選」に選ばれた落合川と南沢湧水群や、アニメ映画「となりのトトロ」の舞台のモデルである八国山緑地、歴史環境保全地域に指定されている玉川上水など、住宅地の近隣に豊かな自然が広がっている。



南沢湧水群



八国山緑地



玉川上水

○ 西武池袋線、西武新宿線などが通っており、隣接する区部へのアクセス、特に池袋、新宿へのアクセスが良い。



西武新宿線

○ 高齢者の単身・夫婦のみの世帯数の割合が、多摩地域内で最も高く、特に、清瀬市、東村山市、東久留米市は2割に達する。

○ 都市計画道路の完成率は4割を下回っており、多摩地域内で最も低い。

○ 2014年の製造品出荷額等は、多摩地域内で最も低く、多摩地域全体の約1割の額に留まる。

